

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 26 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 19 回



◇平成 26 年 10 月 2 日（木） 9:20～11:20
◇参加者 緑苑台小学校 4 年生
児童 29 名 教諭 1 名

【学習コース】 弁天丸茨戸川下流コース（茨戸川艇庫船着き場→志美運河→石狩河口橋付近往復）

【学習行程】

時刻	学習内容	
	1 班	2 班
9:20～9:25	はじめの会（挨拶、学習内容説明、注意事項・トイレ等）	
9:25～10:20	弁天丸乗船	植物観察
10:25～11:15	植物観察	弁天丸乗船
11:15～11:20	おわりの会	

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
- ◇植物観察
 - 川の近くに生息する植物を観察
 - 笹舟つくりと笹舟流し

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか
 - 大きな橋が見れた
 - 志美運河水門
 - アオサギというサギ科の鳥
 - 重なっている石

◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか
川の中には他の生物はいるのか
運転席の前のボタンが何か知りたい
石狩川の歴史

◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか
違う風景も見てみたい
博物館などでもっと詳しく勉強してみたい
違う季節にも来てみたい

【実施状況写真】



弁天丸は想像していたより大きかった



船の仕組みにも興味津々



水門の役割についてメモ



足元に注意して下船します



植物を実際に探します



笹船を作って流しました